

図書館だより 1月号



1月のスペシャル展示コーナーのテーマは、「本の福袋」です。

毎年恒例でご好評いただいている「本の福袋」(貸出本・ささやかなプレゼント入り)を今年も実施いたします。子ども用から大人用までご準備いたします。普段読まないジャンルや、図書館員おすすめの本との出会いをお楽しみください。数量に限りがございます。なくなり次第終了となりますので、何卒ご了承ください。

皆さまのご来館をお待ちしております。



図書館ニュース

◎「蔵書点検」による休館のお知らせです

2月11日(火)～16日(日)は、毎年実施している「蔵書点検」のため休館いたします。

図書館に所蔵しているすべての資料を点検する作業を行いますので、この期間は貸出しできません。

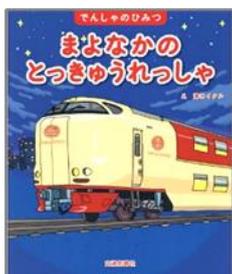
本・DVDなど、借りているものを返却することはできます。閉館中は、図書館エントランス近くにあるブックポストにご返却ください。

期間中、利用者の皆様には、大変ご不便をおかけしてしまいますが、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2月18日(火)から通常通り、開館いたします。

♪ 今月のピックアップ

◎「まよなかのとっきゅうれっしゃ」 溝口 イタル：絵／株式会社交通新聞社



夜の東京駅のホームに入ってきたのは「寝台特急サンライズ瀬戸・出雲」です。車内にはベッドがついた部屋がたくさん並んでいます。夜も更けてくると車内はとても静かになります。車掌さんが静かに見回りをしています。岡山駅でサンライズ瀬戸とサンライズ出雲は連結部分を切り離します。ここから列車は、行く先が分かれるのです。

列車好きのお子さんと一緒に楽しみたい、寝台特急の秘密が描かれた絵本です。

◎「恐竜のあたまの中をのぞいたら ～脳科学でさぐる恐竜の感覚～」

大島 英太郎：作／河部 壮一郎：監修 福音館書店

恐竜の化石には、恐竜が生きていた頃の手がかりがたくさん残されています。たとえば、ティラノサウルスの頭の骨からは、目や鼻の位置により、どのように距離を測り獲物をとらえていたのかが推測できます。恐竜好きのお子さんにおすすめの絵本です。

自分で読むなら小学校4年生くらいから。



子ども映画会

- ・日時：2月2日（日）午後1時30分～
 - ・場所：図書館2階 視聴覚ホール
 - ・上映作品：『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』（90分）
- *お友だちを誘って、みんなで見に来てね！



児童室前の絵本展示

1月の児童室前の絵本展示のテーマは「冬の絵本」「節分」です。

雪を初めて見た子犬の様子を描いた絵本「しろいしろい ころわん」。そのほか、豆まきの行事の由来などを描いた絵本など、季節の絵本をたくさん展示いたします。親子で絵本展示コーナーをごらんください。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
2025				1	2	3	4
1月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
							1
2月	②	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	
	■	は休館日					
	□	は館内整理日による休館					
	○	は、行事のある日です。					

新刊案内

◎図書館に入荷している主な新刊をご案内いたします。

◎図書館の蔵書は、町ホームページの図書館ページから検索することができます。（インターネットでの予約はできません。）

【一般書・実用書】

- ・「現代人のための読書入門」 印南 敦史：著
光文社
- ・「仕事のできる人がやっている減らす習慣」
中村 一也：著/フォレスト出版
- ・「足環をつけた鳥が教えてくれること」
山階鳥類研究所：著/山と溪谷社
- ・「整形外科医のカラダの痛み相談室」
井尻 慎一郎：著/創元社
- ・「塩クッキーとケーキ」 加藤 里名：著
家の光協会
- ・「観葉植物を枯らさないための本」
ヴェロニカ・ピアレス：著/グラフィック社
- ・「最新介護保険外サービスの基本がよくわかる本」
齋藤 直路：著/秀和システム

【小説】

- ・「罪名、一万年愛す」 吉田 修一：著
KADOKAWA
- ・「邪鬼の泪」 神永 学：著/集英社
- ・「夜刑事」 大沢 在昌：著/水鈴社
- ・「恋とか愛とかやさしさなら」 一穂 ミチ：著
小学館
- ・「気の毒ばたらき」 宮部 みゆき：著
PHP 研究所
- ・「架空犯」 東野 圭吾：著/幻冬舎

※このほかにも、たくさんの新刊が入荷しております。詳しくは毎月発行の新刊図書案内をご覧ください。